

2026（令和8）年度の施策の展開

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

グローバルな視点で活躍し、イノベーションを担う人材の育成に資する英語教育や理数教育の充実を図りながら、未来を切り拓いていくために必要な新たな価値を生み出す創造性と多様な他者と協働して行動できる人材を育みます。

施策

- ⑧ 教育DXの推進
- ⑨ グローバルに活躍する人材の育成
- ⑩ 新たな価値を創造する人材の育成

※ 施策ごとに2026（令和8）年度の取組方針、主な取組、取組の進捗、参考について記載しています。

※ 【主な取組】の見方

➤ 主な取組を取組主体別に記載しています。

■：山口県教育振興基本計画に示す主な取組

○：主な取組の柱

・：具体的な取組内容

新：2026（令和8）年度の新規事業関連の取組

新：2026（令和8）年度の予算計上を伴わない新たな取組

拡：2026（令和8）年度の拡充する取組

➤ 予算の欄には、関連資料（令和8年度教育委員会当初予算の概要）のページ数を記載しています。

➤ 参考に説明資料等を掲載している取組や資料名には下線を引いています。

注 各施策の**参考**に記載している＜国参考資料＞及び＜県参考資料＞には、その他の関連資料、閲覧するためのURLや二次元コードを示しています。情報の更新等によりアクセスできなくなる可能性があります。

⑧ 教育DXの推進

【2026(令和8)年度取組方針】

- ◆ 「やまぐちスマートスクール構想2.0^{*1}」を推進①します。
- ◆ 児童生徒の情報活用能力の育成に向けて、1人1台タブレット端末の効果的な活用を促進するとともに、教職員のICT活用指導力の向上を図ります。
- ◆ 学習の基盤となるICT環境の維持・充実に取り組みます。
- ◆ ICTの校務への活用を推進し、業務の効率化を図ります。

【主な取組】(担当課：教育情報化推進室／教職員課／義務教育課／高校教育課／
特別支援教育推進室／学校安全・体育課／やまぐち総合教育支援センター)

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ ICTを活用した児童生徒の資質能力の育成		
○ 児童生徒の情報活用能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人1台タブレット端末等のデジタル学習基盤のさらなる活用促進による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ・ 各教科等の特質に応じた、情報技術を適切に活用した学習活動の充実 ・ 総合的な学習(探究)の時間等、地域や社会での学習における1人1台タブレット端末の活用 	学校 (小・中・高・特)	P127 P128
○ 情報モラル教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「情報モラル教育年間指導計画」に基づく情報モラル教育の充実(高・特) ・ 情報モラル教育に関する研修会等の実施 ・ 活用型情報モラル教材「GIGAワークブックやまぐち^{*2}」の活用 	県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)	
○ 1人1台タブレット端末の効果的な活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人1台タブレット端末を用いた効果的な実践例の創出及びオンラインコミュニティ等を活用した横展開 ・ 1人1台タブレット端末の家庭への持ち帰りによる家庭学習での活用の促進 	県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)	
新 生成AIを搭載した学習アシスタントアプリの活用 「生成AI搭載やまぷりCBTによる学力向上支援事業」の推進 (小・中・特)	県教委 市町教委 学校 (小・中・特)	P127 P128
○ デジタル人材に必要な資質能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 新 高校生等を対象としたシビックテックコミュニティの運営、コンテストや講座等のデジタル関連イベントの開催 ・ 「DXハイスクール推進事業」を活用し、デジタル等成長分野を支える人材を育成 	県教委 学校 (高・特)	P129 P130
■ 教職員のICT活用指導力の向上		
○ 教職員のICT活用指導力のレベルに応じた研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTや情報・教育データの利活用について各キャリアステージにおいて求められる資質能力の向上に資する研修の実施 	県教委 市町教委	P155
○ 多様な研修機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門研修やサテライト研修、独立行政法人教職員支援機構(NIT S)山口大学センターと連携した研修、オンライン研修等の実施 ・ 「やまぐちICT新たな学びラボ(YAMA-LABO)^{*3}」での研修コンテンツの提供 ・ 学校における適切な生成AIの利活用に向けた研修会の実施 	県教委 市町教委	P155

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

■ ICTを活用するための環境の整備			
○ ICT環境の維持・充実			
・ 高校段階における1人1台タブレット端末整備のBYAD ^{*4} 化に係る端末購入費の補助	県教委	P130 P150	
・ 「山口県公立学校情報機器整備基金」を活用した、義務教育段階における1人1台タブレット端末等の計画的な更新	県教委 市町教委	P129 P150	
・ 県立学校における校内ネットワークの機器更新による通信ネットワーク速度の改善	県教委		
○ 教育データ利活用に向けた環境整備			
・ 様々な教育データを集約・可視化する教育ダッシュボードの運用	県教委	P129	
・ 採点結果の分析機能を搭載したクラウド型採点システム ^{*5} の運用	県教委	P129	
■ ICT活用推進体制の整備と校務の改善			
○ 教職員の日常的なICT活用のサポート			
・ ICT支援員 ^{*6} の配置 ・ 「やまぐちGIGAスクール運営支援センター」の設置	県教委 市町教委	P129 P150	
○ ICT活用の推進等に向けた体制の整備			
・ 「県立学校教育DX推進協議会」での協議による、県立学校のICTの効果的な活用の推進	県教委		
・ 県教委と市町教委で構成する「山口県教育ICT推進協議会」における、市町間のICTの利活用状況・好事例の共有 ・ 県域共通クラウドサービスの活用による県・市町の連携強化	県教委 市町教委		
○ ICTを活用した業務の効率化			
・ クラウドサービスを活用した校務DXの推進 ・ 校務における生成AIの活用推進	学校 (小・中・高・特)		
・ クラウド型採点システムや統合型校務支援システム ^{*7} の活用	学校 (高・特)	P129	
・ 市町の統合型校務支援システムの共同利用	市町教委 学校 (小・中)		
・ 公立高等学校における入学者選抜のWEB出願システムの運用	県教委 学校 (中・高)		

※1 やまぐちスマートスクール構想2.0：1人1台タブレット端末などのデジタル学習基盤の充実・強化とさらなる活用促進により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、誰一人取り残されることのない学びの保障、子どもと向き合う時間を確保するための働き方改革の推進など、デジタルを活用してリアルな学びを充実させ、子どもたちの可能性を広げる構想

※2 GIGAワークブックやまぐち：県教委がLINEヤフー株式会社と連携し作成した、ICTを活用した学びに焦点を当てた情報モラル教材。端末利用時の注意点や適切なコミュニケーション方法など、ICTの活用場面ごとにそれぞれのテーマで学ぶことができる。

※3 やまぐちICT新たな学びラボ(YAMA-LABO)：ICTを授業や校務において効果的に活用できる情報を集積したウェブサイト。タブレット端末を活用した授業や探究的な学びに関する資料等を多数掲載している。

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

- ※4 **BYAD**：指定された端末を個人が私費で購入し、学校や家庭で活用すること（Bring Your Assigned Deviceの略）
- ※5 **クラウド型採点システム**：答案用紙をスキャンしたデータをクラウド上に保存し採点するシステムであり、選択式の解答の自動採点や得点の自動集計等の機能を有するもの
- ※6 **ICT支援員**：学校における教職員のICT活用（例えば、授業、校務、教職員研修等の場面）をサポートすることにより、ICTを活用した授業等を教職員がスムーズに行うための支援を行う者
- ※7 **統合型校務支援システム**：教務系（成績処理、出欠管理、授業時数管理等）、保健系（健康管理、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）、学校事務系など統合した機能を有しているシステム

取組の進捗

p-d-Checkra

主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
学習者用端末を活用した学習活動に、情報活用能力の向上の効果があると感じている生徒の割合（県立中・高等学校、中等教育学校）	87.1% (2022(令和4)年度)	91.1% (2025(令和7)年度)	95.0%
情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力を有する教員の割合（公立小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校）	85.8% (2021(令和3)年度)	87.5% (2024(令和6)年度)	90.0%
授業にICTを活用して指導する能力を有する教員の割合（公立小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校）	77.9% (2021(令和3)年度)	82.4% (2024(令和6)年度)	85.0%
教育ダッシュボードで可視化した教育データを活用している学校の割合（県立学校）	0.0% (2022(令和4)年度)	67.2% (2025(令和7)年度)	100%

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

参考

① 「やまぐちスマートスクール構想 2.0」の推進

(担当：教育情報化推進室)

やまぐちスマートスクール構想（令和3年度～）

1人1台タブレット端末などのICT環境を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる構想



- 社会のデジタル化やデジタル技術の急速な進展に対する的確な対応
- 山口県教育振興基本計画に沿った今後の施策展開と事業目標の明確化
- 構想のさらなる推進に向けたデジタル学習基盤の充実・強化

やまぐちスマートスクール構想2.0（令和7年度～9年度）

1人1台タブレット端末などのデジタル学習基盤の充実・強化とさらなる活用促進により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、誰一人取り残されない学びの保障、子どもと向き合う時間を確保するための働き方改革の推進など、デジタルを活用してリアルな学びを充実させ、子どもたちの可能性を広げる構想

構想の推進にあたり、次の4つの視点を掲げ、その取組の方向性や具体的な取組内容を明確化した「『やまぐちスマートスクール構想2.0』推進プラン」に基づく施策を総合的・計画的に展開する。

4つの視点

1 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校

児童生徒の情報活用能力の育成、学校・家庭での個別最適な学びの充実など

2 海外・地域・他校とつながる学校

大学・企業・海外等と連携した協働的な学びの充実、専門学科での先端技術の活用など

3 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校

学校安全の推進、誰一人取り残されることのない教育の推進など

4 さらなるICT活用を支えるデジタル学習基盤

学校におけるICT環境の整備・強化、教育ダッシュボードを起点とした教育データの活用など



<県参考資料>

① 教育情報化推進室 「やまぐちスマートスクール構想 2.0」の推進

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/244/291097.html>



② 教育情報化推進室 やまぐちICT新たな学びラボ（YAMA-LABO）

<https://www.yama-labo.ysn21.jp/>



⑨ グローバルに活躍する人材の育成

【2026（令和8）年度の実施方針】

- ◆ 校種間接続の視点を踏まえた指導の更なる充実を図るとともに、言語活動を通じた指導の充実や指導と評価の一体化を進め、英語でコミュニケーションを図る資質能力の確実な育成を推進します。
- ◆ 児童生徒の国際的視野を広げ、英語学習に主体的に取り組む態度を育成するため、海外姉妹校との連携強化や留学生の受入れ、オンラインも含めた国際交流の機会の充実に取り組めます。
- ◆ 世界に向けた広い視野と地域の身近な問題を意識する視点の両方をもつ人材を育成するため、国際協調・協力を実践する態度等を育む教育活動を推進するとともに、地域課題について探究する機会の充実を図ります。

【主な取組】

(担当課：高校教育課／義務教育課)

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ 英語によるコミュニケーション能力の育成		
○ 校種間接続の視点を踏まえた英語教育の推進		
・ 県・市町教育委員会の学校訪問における、校種間の接続の視点を踏まえた指導助言の実施	県教委 市町教委	
・ 校種間のつながりを意識した指導計画の作成と、生徒の実態に応じた授業の展開	学校 (小・中・高・特)	
○ 指導と評価の一体化の推進、ICT等の研修の充実		
・ 小・中学校英語指導力スキルアップ研修会の開催 ・ 英語によるコミュニケーション能力を育成するためのICT活用を促進する研修の実施 ・ 外国語指導助手（ALT）と日本人教員を対象とした「山口県外国語指導助手指導力等向上研修会」の開催	県教委 市町教委	
・ CAN-DOリストの活用 ・ 言語活動の充実やICTの活用による指導方法の工夫・改善	学校 (小・中・高)	
○ 小学校専科教員の配置		
・ 小学校英語専科教員等の配置	県教委 市町教委	P150
・ 配置校・兼務校を中心とした英語教育に関する校内研修の充実	学校 (小)	
○ デジタル教科書の活用促進		
・ 各研修会におけるデジタル教科書の効果的な活用の促進	県教委 市町教委	
・ デジタル教科書を効果的に活用した授業改善	学校 (小・中)	
■ 海外との交流の促進		
○ 海外の教育機関との交流機会の充実		
・ 韓国慶尚南道に訪問団を派遣し、高校での授業体験・意見交換等を通じた相互交流や産業・文化施設訪問等による異文化体験を実施（高） （交流テーマ：「SDGs」、実施時期：10月以降を予定）	県教委	P150
・ オンラインを活用した海外の学校等との交流の実施 ・ 海外姉妹校との交流の実施	学校 (小・中・高・特)	

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

○ 海外留学の促進及び留学生の受入れによる国際交流機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 海外留学に必要な経費の一部を補助（高）^① （留学先：オーストラリア、実施時期：7月下旬～8月上旬 人数：上限20人、補助金額：60千円/人〔予定〕） 海外留学の成果を共有し、留学に対する意欲や機運の醸成を図る機会の創出^①（中・高） 	県教委	P137 P150
	<ul style="list-style-type: none"> 留学に関する情報の積極的な提供や、留学支援事業の周知 国補助事業「アジア高校生架け橋プロジェクト+（プラス）」等を活用した留学生の受入れ（高） 	学校 （中・高・特）	
○ A L Tの活用の一層の促進			
<ul style="list-style-type: none"> 県、市町主催事業や学校での教育活動におけるA L Tの参画促進 	県教委 市町教委	P150	
<ul style="list-style-type: none"> 教育活動におけるA L Tの参画機会の充実 	学校 （小・中・高・特）		
■ グローバル・リーダーの育成			
○ 海外におけるグローバルな視野を育む教育の推進			
<ul style="list-style-type: none"> 「東部地域グローバル人材育成事業^②」による海外研修等の実施（中・高） 	県教委	P137 P150	
○ 大学等と連携した、地域課題をグローバルな視点で探究する学習活動の推進			
<ul style="list-style-type: none"> 「やまぐち発！グローバル・リーダー育成事業」による、米国スタンフォード大学と連携したオンラインプログラム「スタンフォードe-Yamaguchiプログラム」の実施^①（高） 「東部地域グローバル人材育成事業」における、大学生と協働した探究活動の実施（中・高） 	県教委	P137 P150	
<ul style="list-style-type: none"> 地域課題をグローバルな視点で探究する学習活動の一層の充実 	学校 （小・中・高）		

取組の進捗

p-d-Checkra

主な指標	基準値 （計画策定時）	最新値	目標値 （2027(令和9)年度）
中学校卒業段階で英検3級相当以上、高等学校卒業段階で英検準2級相当以上を達成した中高生の割合	中学校卒業段階 50.7% 高等学校卒業段階 48.3% （2022(令和4)年度）	中学校卒業段階 53.3% 高等学校卒業段階 47.5% （2024(令和6)年度）	中学校卒業段階 60.0% 高等学校卒業段階 60.0%
高等学校卒業段階で英検2級相当以上を達成した高校生の割合	20.6% （2022(令和4)年度）	18.9% （2024(令和6)年度）	30.0%
海外の教育機関等と交流した県立学校の割合（オンラインによる交流も含む）	54.2% （2022(令和4)年度）	68.8% （2024(令和6)年度）	100%

参考

英語によるコミュニケーション能力の育成

(担当：義務教育課／高校教育課)

山口県の英語教育推進計画

目的

○英語によるコミュニケーション能力を養い、グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、英語教育担当者の指導力を向上し、児童生徒の英語力向上を図る。

(1)研修会

スキルアップ研修会、やまぐち英語教育推進連絡会等

【指標】

- 生徒の英語力
 - 〔中：CEFR A1レベル相当以上〕
 - 〔高：CEFR A2レベル相当以上〕
- 中：50.7%(2022) ⇒ 60.0%(2027)
- 高：48.3%(2022) ⇒ 60.0%(2027)
- 「英語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答をする割合

スキルアップ研修会

- 外部講師より理論習得
- 理論に基づいた実践
- 単元構想シートの作成
- 実践の共有と評価改善

やまぐち英語教育推進連絡会

- 県との情報共有
- 参加者同士の情報共有
- 理論に基づいた指導助言の実践
- 各地域の目標と進捗状況の確認

(2)校種間接続

- 校種間の接続の視点を踏まえた英語教育の推進
 - ・ 県市町における情報共有や協働体制の構築
 - ・ 連携CAN-DOリスト作成の促進
 - ・ 校種間のつながりを意識した研修機会の創出

(3)生徒の英語力向上事業（英検IBA及びESG）

- 【英検IBA】公立中学校1～3年生対象
- 【英検ESG】希望する公立小学校の6年生対象
- 県市町教委による結果の活用
- 各学校による結果の活用

海外との交流の促進、グローバル・リーダーの育成

(担当：高校教育課)

①やまぐち発！グローバル・リーダー育成事業

地域と地球規模で考え、世界へはばたくグローバル・リーダーの育成

やまぐち発！グローバル・リーダー育成事業

短期留学プログラム

(短期留学に参加し、グローバルに活躍しようとする意欲を向上させる取組)

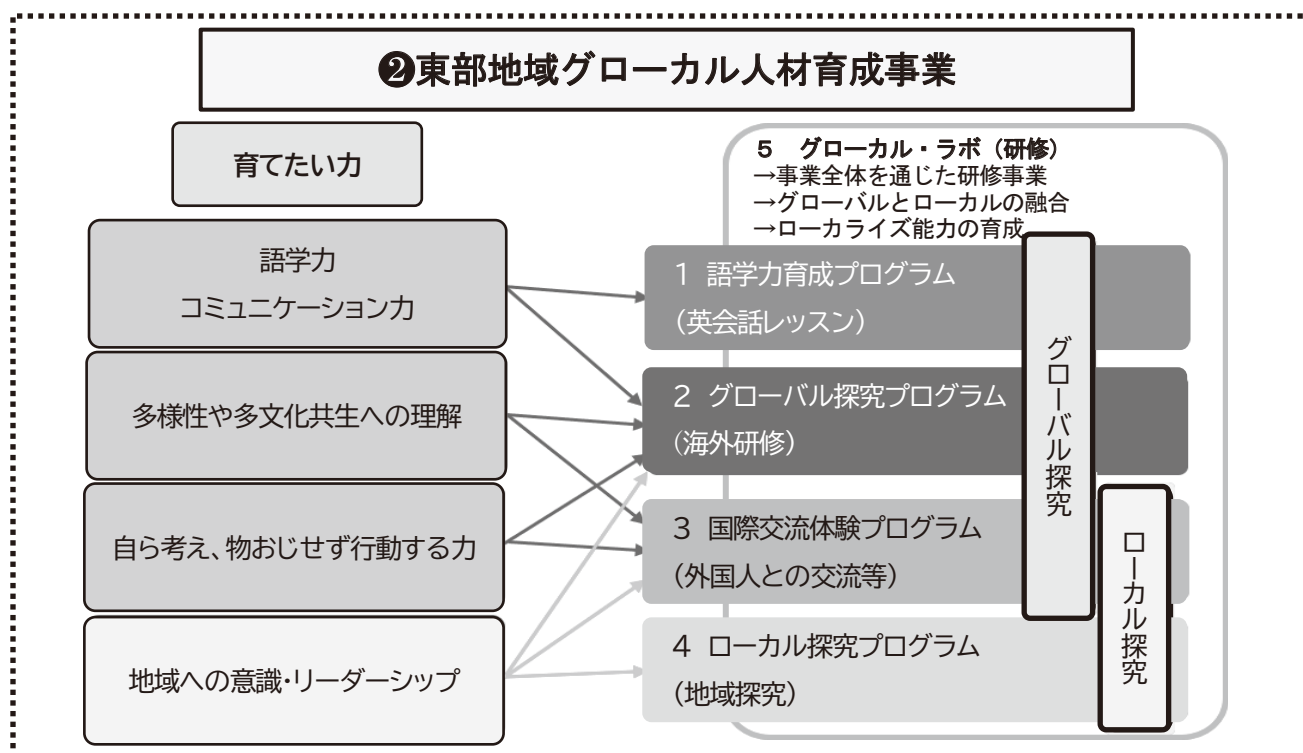
- ・ 対象：県内高校生等 20名
- ・ 期間：約2週間（夏期）
- ・ 行先：オーストラリアを予定
- ・ 総費用：約75万円
- ・ 補助額：6万円（定額：国庫10/10）
- ・ 事前研修会：7月中旬
- ・ 現地文化等の事前学習、参加者交流等を実施
- ・ 事後報告会：9月中旬
- ・ 生徒による留学体験報告や、奨学金事業者・留学支援団体等による説明や個別相談会を併せて実施（短期留学参加者以外も参加可能）

スタンフォードe-Yamaguchiプログラム

(海外大学のオンライン講義を受け、英語力・積極性等を向上させる取組)

- ・ 対象：県内高校生等 30名
- ・ 期間：9月～3月
- ・ 内容：スタンフォード大学講師によるオンライン講義の受講
英語でのディスカッション
英語での最終プレゼンテーション
- ・ 形式：参加者は自宅等からオンラインで参加
- ・ 修了証：スタンフォード大学が修了者全員に発行
- ・ 表彰：優秀生徒2名をスタンフォード大学にて表彰（渡米）
- ・ オンライン講義のテーマ（例）
SDGs、起業家教育、国際平和、ジェンダー、地域活性化 等

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進



<国参考資料>

YouTube 文部科学省/mextchannel「外国語教育はこう変わる！」（随時更新）

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f>



文部科学省「高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料」（R4.7）

https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_kyoiku01-000021347_1.pdf



文部科学省「外国語の指導におけるICTの活用について」（R2.9）

https://www.mext.go.jp/content/20201102-mxt_jogai01-000010146_009.pdf



総務省「JETプログラム外国語指導助手（JET-ALT）活動事例集」（R5.7）

https://www.soumu.go.jp/kokusai/kouryu_JET.html



文部科学省「英語教育改善プラン（平成28年度～）」

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/index_00006.htm



<県参考資料>

高校教育課

ICTを活用した実践事例【外国語①】「オンライン掲示板ツールを活用したアイデアの共有」（R7.12）

ICTを活用した実践事例【外国語②】「フィードバックによる英語プレゼンテーション練習」（R7.12）

ICTを活用した授業提案「外国語科におけるReading Progressの活用について」（R6.1）

ICTを活用した授業提案「外国語科におけるReading Coachの活用について」（R6.1）

<https://www.yama-labo.ysn21.jp/> ※「取組紹介」のページから閲覧可能



⑩ 新たな価値を創造する人材の育成

【2026（令和8）年度取組方針】

- ◆ 学習指導要領を踏まえ、児童生徒が主体的に課題を発見し、多様な人と協働しながら課題を解決する探究学習やSTEAM教育等の教科等横断的な学習の充実を図ります。
- ◆ 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、普通科改革、先進的なグローバル・理数系教育等を通じて、各高等学校等の特色化・魅力化を図ります。
- ◆ 整備されたICT環境やデジタル化対応産業教育装置を積極的に活用し、専門分野に関する知識・技術の深化と実践力の育成、将来の地域産業を支える人材の育成に向けた取組を推進します。
- ◆ 各教科等の授業において、起業への理解促進や起業体験活動を推進します。
- ◆ 専門高校で学ぶ生徒に対して、脱炭素社会の実現に向けた意識の醸成と必要な資質能力を身に付けた人材を育成します。

【主な取組】

(担当課：高校教育課／義務教育課)

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ 探究・STEAM教育の充実に向けた取組		
○ 大学等と連携・協働した課題解決型学習や研究発表会の実施		
・ 各学校における課題研究の成果を発表する探究学習成果発表大会等の機会の設定	県教委	P122 P149 P151
・ 文理探究科などにおける大学や博物館等の訪問を通じた課題解決型学習の実施 ・ 地域社会の課題に基づく探究活動の実施	学校 (高)	
○ 探究的な学習に資するプログラムを活用した取組の推進		
・ 県教委が独自に開発した教育プログラム⑥(まなびで“きびる”プロジェクト)の活用促進	県教委	
・ 課題発見能力の向上に資するプログラムを活用した授業の実施 ・ プレゼンテーション能力の向上に資するプログラムを活用した授業の実施	学校 (小・中・高)	
○ 生徒が切磋琢磨し、能力を伸長する機会の充実		
・ 国内外の科学コンテストへの参加促進	県教委	
・ 国際科学オリンピックへの参加 ・ ISEF(国際科学技術フェア)等への参加	学校 (高)	
○ 文理探究科③における探究的な学習活動の推進		
・ 「やまぐちサイエンス・サポート事業」②、「DXで未来を創る!やまぐち探究レベルアップ事業」①による文理探究科設置校の学習環境の充実 ・ 理数系人材を育成するための文理融合・探究的な学びの充実 ・ 探究学習の充実と教員の指導力向上に資する協議会の開催	県教委	P122 P135 P151
・ 文理探究科の生徒が集う合同セミナーの実施 ・ 課題研究の充実	学校 (高)	
■ 理数教育の充実に向けた取組		
○ 大学等と連携した体験的・探究的な学習活動の推進		
・ やまぐちサイエンス・キャンプ②の開催 ・ 「科学の甲子園」山口県大会(中学生・高校生対象)②の開催	県教委	P138 P151
・ 大学等が主催する研究発表会への参加 ・ 大学等の研究者から直接指導を受ける機会の創出	学校 (高)	
○ 創造性等を高める指導方法の研究開発及び成果の普及		
・ 理科授業改善研修会の実施(小・中) ・ 「サイエンスやまぐち」等の科学作品展・科学発表会の開催	県教委	P138 P151
・ スーパーサイエンスハイスクールにおける指導方法の研究開発及び成果の普及	学校(高)	

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

■ 高等学校の特色化・魅力化に向けた取組			
○ 協働的・探究的な教育活動の充実			
<ul style="list-style-type: none"> 「DXで未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業」により探究的な学習を推進する教員の育成や学習の質の高度化を支援 	県教委	P122	P151
<ul style="list-style-type: none"> 文理探究科設置校等における次代を担う人材の育成や、多様化する大学入学者選抜への対応 	学校 (高)		
○ 組織的・計画的な教育活動の検証・改善			
<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会等の活用による、スクール・ポリシーを踏まえた、日々の教育活動の組織的・計画的な実施及び検証・改善 	学校 (高)		
■ 職業教育の充実^④			
○ 産業界のDX化に対応できる人材の育成			
<ul style="list-style-type: none"> 専門高校とデジタル技術を積極的に導入している県内企業との連携による技術講習会や実習の推進 ものづくりへの興味・関心の喚起と知的好奇心の育成 	県教委	P120	P149
<ul style="list-style-type: none"> 企業の技術者による学科の専門性に応じた技術講習会等の実施 ものづくり教室やものづくりイベント等の活用 	学校 (小・中・高・特)		
○ 資格取得や専門技術習得の促進			
<ul style="list-style-type: none"> オンライン講座の配信による学校や学科の枠を越えた学びの場や機会の創出 高度な専門知識や技術を身に付けた人材の育成 	県教委	P120	P149
<ul style="list-style-type: none"> 山口マイスター等の熟練技能者の積極的な活用による技術講習会の実施 デジタル化対応産業教育装置を活用した資格取得講座の実施 「介護職員初任者研修」等の実施 「きらめき検定」(山口県特別支援学校技能検定)の活用 	学校 (高・特)		
■ 起業家教育(アントレプレナーシップ教育)の推進			
○ 新たな価値の創造に取り組む姿勢や発想・能力等の醸成			
<ul style="list-style-type: none"> 学科の専門性に応じた起業家教育への理解促進や体験活動の推進 	県教委		
<ul style="list-style-type: none"> 地元企業や異なる学科と連携・協働した商品開発・販売等の教育活動の実施 やまぐちハイスクールブランドプロジェクト^⑤を活用した起業体験活動の実施 県及び経済団体等が主催するコンテストの活用 	学校 (高・特)		
■ 脱炭素等、これからの社会における成長分野を担う人材の育成			
新 地元企業・団体等と連携した課題解決型学習(PBL)の推進「企業から学ぶ！ローカル×テック探究プロジェクト」			
<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素化やPBLについて学ぶ研修会や活動報告会の実施 	県教委	P119	P149
<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルをテーマにAI等を活用したPBLを展開 企業メンターの伴走支援のもと、調査・分析・研究・発表を実施 	学校 (高)		
新 専門高校における探究活動の推進と成果の普及「専門高校プロモーションプロジェクト」			
<ul style="list-style-type: none"> 専門高校の取組を紹介するやまぐちスペシャリストEXPOの開催 専門高校紹介コンテンツ(パンフレット・ホームページ)の作成 小中学生や保護者、中学校教員に向けた情報発信 	県教委	P119	P149
<ul style="list-style-type: none"> やまぐちスペシャリストEXPOへの参加や専門高校紹介コンテンツの充実による研究成果の発信 	学校 (高)		

取組の進捗

p-d-Checkra

主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
県教委が独自に開発した探究的な学習に資する教育プログラムを活用した公立高校の割合	55.1% (2022(令和4)年度)	47.9% (2024(令和6)年度)	100%
産業界等と連携した学習活動（インターンシップ、共同研究等）を行っている県立高校の割合	97.9% (2022(令和4)年度)	95.8% (2024(令和6)年度)	100%
大学等と連携した理数教育に関する体験的・探究的な学習活動に参加した普通科設置校の割合	37.0% (2022(令和4)年度)	56.3% (2024(令和6)年度)	70.0%

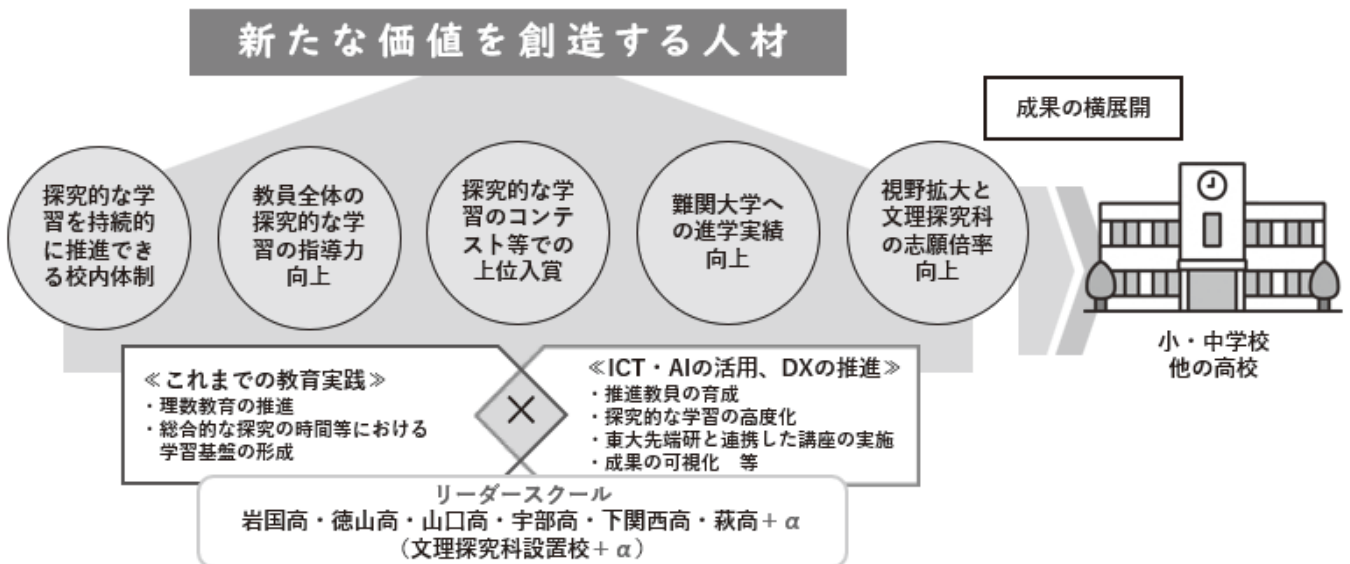
参考

探究・STEAM教育の充実に向けた取組

(担当：高校教育課)

① DXで未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業

新たな価値を創造する人材の育成に向け、文理探究科6校において、ICT・AI等を活用した文理横断的・探究的学習の高度化を図り、その取組・成果を広く県内に発信・横展開することで、探究的な学習活動を推進します。



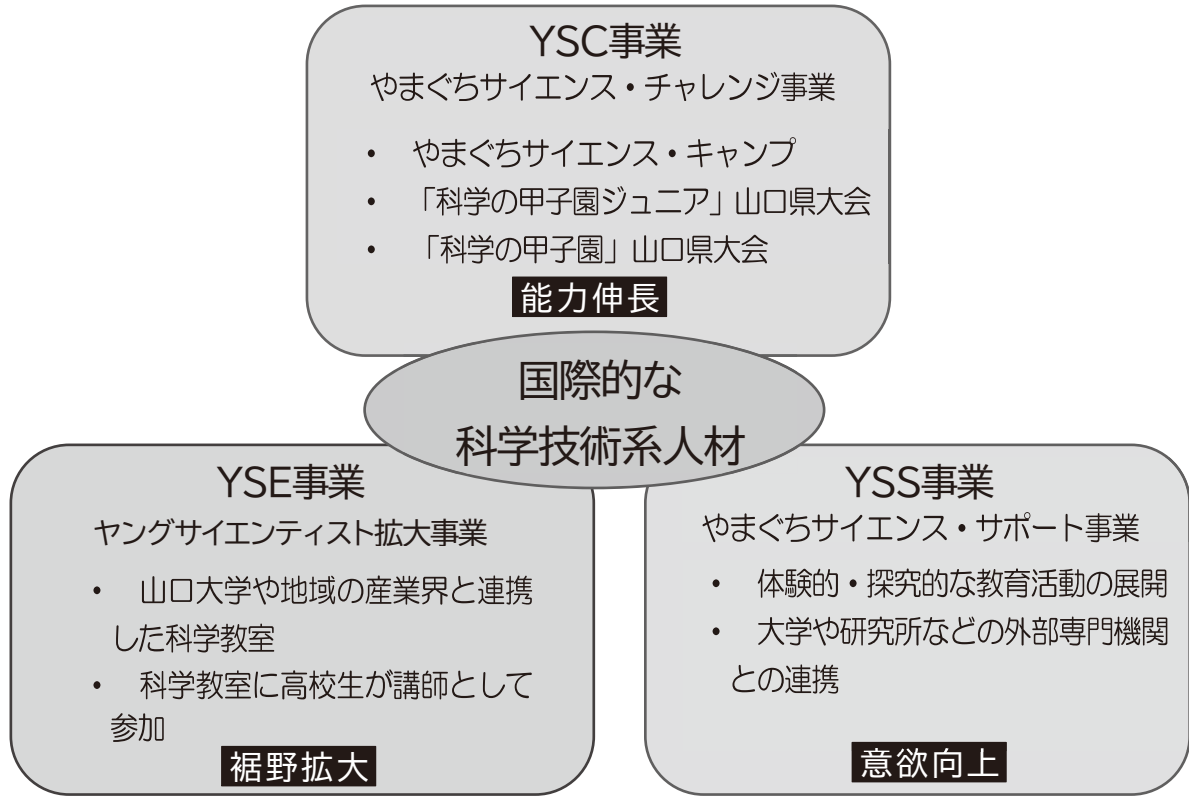
2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

理数教育の充実

(担当：高校教育課／義務教育課)

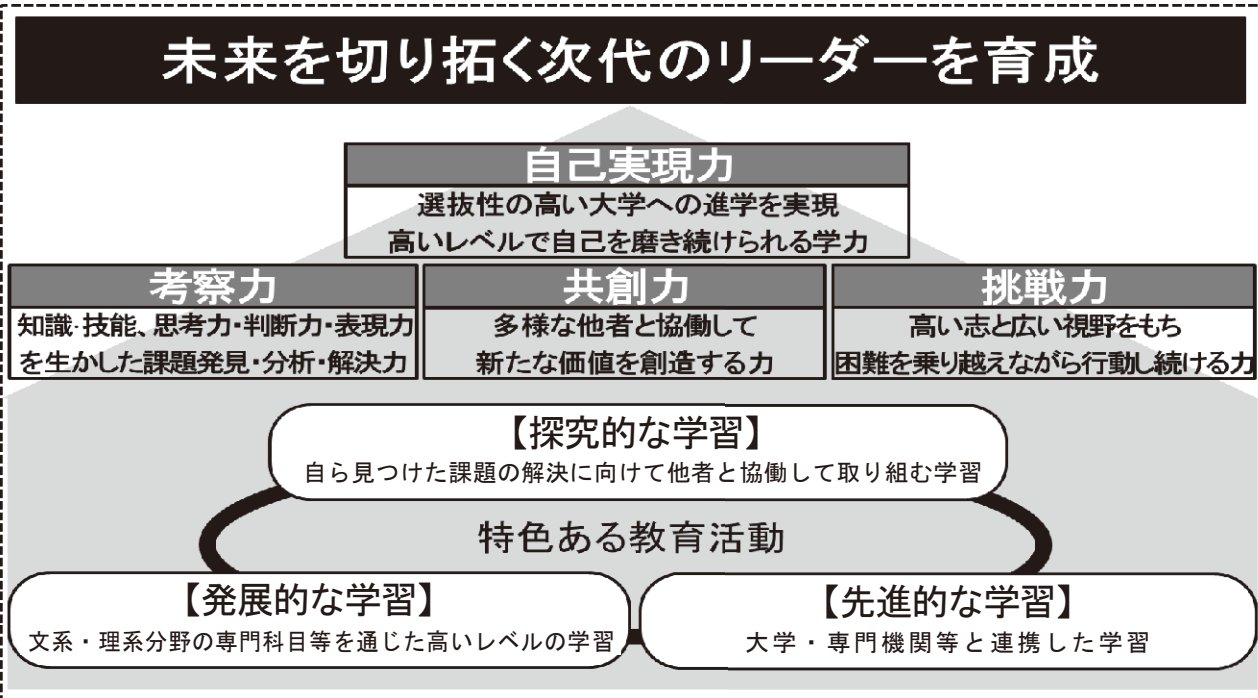
科学に対する興味・関心の喚起や、探究的活動に重点を置いた理数教育の充実など、質の高い系統的・継続的な理数教育の推進を図ります。

② やまぐち 燦めきサイエンス事業



③文理探究科のねらい【概念図】

(担当：県立高校再編整備推進室)



④職業教育の充実

(担当：高校教育課／義務教育課／特別支援教育推進室)

<社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成>

- 各職業分野に関する体系的・系統的な理解及び関連する技術の習得
- 各職業分野に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する力の育成
- 職業人として豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築をめざして自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度の育成

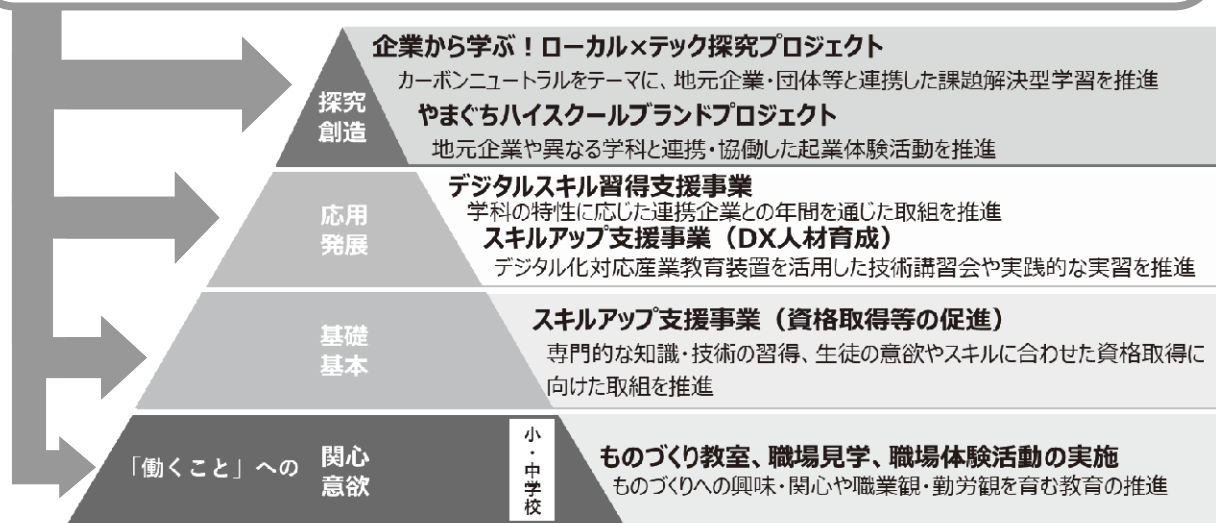
山口県産業の将来を担う人材の育成

産・学・公との連携・協力【企業、大学、関係機関等】

- 企業実習受入、講師派遣
- 若年技能者人材育成支援等事業
- 次代を担う産業人材育成推進事業
- ものづくり産業技能向上対策事業 等

ICTの活用

- 学校・学科の枠を越えた学びの場や機会の創出
- やまぐちスマートスクールポータルサイトにおける情報発信



- ⑤ やまぐちハイスクールブランドプロジェクト：専門高校等で学ぶ生徒が、学科の枠を越え協働しながら起業体験活動や商品開発及びブランド化等、新たな価値の創造につながる教育活動を実施。模擬株式会社山口魅来（やまぐちみらい）の活動を通じたマーケティングに関するノウハウの構築・共有化、新ブランドの確立・活用に取り組む。

山口魅来(やまぐちみらい)

(企業名の由来)

- ・ 人々を魅了し、未来の子どもたちに山口の魅力を知ってもらいたい。
- ・ 地域の人々と協力し、伝統を引き継ぎ、未来を創り上げていく会社をめざす。



Yamaguchi High School Brand

統一マーク
商標登録第 6437234 号

<県参考資料>

⑥高校教育課

やまぐちICT新たな学びラボ (YAMA-LABO) 「ICTを活用した新たな学び」 (まなびで “きびる” プロジェクト)

<https://www.yama-labo.ysh21.jp/>

